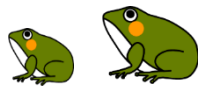


学校だより



おおやま みまも
大山に見守られて



ふくこうちょう まつもと ひろまさ
副校長 松本 寛真

今年度、副校長として着任した松本です。30年程前からの秦野住まいで、ほっとする温かさいっぱいの大好きな秦野の地で、児童生徒の皆さんや保護者の方々、地域のいろいろな人達と関わりながら仕事ができることを本当にうれしく思っています！前任校は三ツ境支援学校で、小田急線・相鉄線と乗り継いで横浜まで通勤していました。相鉄線の三ツ境駅を降りると、晴れた日には駅前から遠くに大山や丹沢の山並みが見えて、その眺めに通勤中の気持ちを和ませ、自己紹介の時などは「あの大山の向こうから来ています」と話すと、「ほおっ」と声があがったりしていました。

秦野市はどこにいても山々の景色が素敵ですが、秦野支援学校落合校舎から見える大山は本当にすごい存在感ですね。今の季節は緑がまぶしく、大山に見守られているこの環境の素晴らしさを日々感じて、窓から目に入る度にエネルギーをもらっています。

この環境のよさと地域の温かさを大切にして、子ども達が、すこやかに、しなやかに、たくましく成長できるよう、そして、より地域に根差した学校になるよう努めています。どうぞよろしくお願ひいたします。



うぐいすの杜

きょうとう おがた なみ
教頭 緒方 水美

4月より教頭として着任いたしました緒方です。うぐいすの音が校舎に鳴り響き、さわやかな気持ちで毎日を過ごしています。大山のきれいな姿に見とれて運転し、うっかり駐車場を通り過ぎてしまった日もありました。水もきれいで、歴史的な史跡・文化財もあり、秦野はとても素敵などころだなと、大好きな場所になってきました。さらに、児童・生徒の明るい笑顔と素直な言葉に、毎日元気をもらっています。落合だけでなく、かもめ・弘済・末広の子どもたちとも、たくさん笑いあって過ごしていきたいと思っています。

先日ニュースで「富士山に『農鳥』が見える季節になりました」と放送されていた日の、落合から見た富士山です。すそ野を広げる富士山のように、子どもたちが可能性を広げていけるよう、職員みんなで日々の活動を工夫していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



B

長らく続いていたB課程の感染防止対策ですが、病棟と話し合いながら昨年度より少しずつ緩和を進め、今年度からは普段使用している1階の教室を飛び出し、他部門他課程の児童生徒がいない時間に、2階に行けるようになりました。病棟で学習しているお友達にも雰囲気は伝わるようにオンライン配信をしながら、感染対策をしながら、いざ学校探検へ出発！まず、長谷川校長先生に昨年度制作した「いぶきちゃんカレンダー」を渡すべく、高等部の生徒が校長室に向かいます。無事手渡して任務完了！校長室をでると松本副校長先生にも会うことができました！ラッキー☆さてさて、エレベーターに乗って2階へGO↑職員室にもたくさんの先生方がいて、「よく来たね～」と声をかけられました♪今年度は校舎内にある様々な特別教室を使えるようになるとうれしいな～😊



D

D弘済の専修クラスでは、5月の下旬に理科の授業で「オクラの種まき」をおこないました！授業の最初に、オクラの被り物をつけた「オクラ大王」がギターを弾き語りしながら現れると児童生徒たちは、大注目！！「こんなオクラいいな できたらいいな～あんなオクラこんなオクラ いっぱいあるけど～♪」という馴染みのあるメロディの曲に合わせて、児童生徒たちは身体を揺らしたり、手拍子をしたりしながら盛り上がりました。その後、夏に向けて「オクラ」の種まきをしました。軍手をつけ、ポットに土を入れ、コップに入っている種をまきました。また、その上から優しく土をかけました。一人ひとりが、土の感触を楽しみながら取り組むことができました！今後は、ポットで苗まで育て、畑に植えかえる作業に取り組みます♪収穫できたオクラは、感触を楽しんだり、オクラスタンプで暑中見舞い作りをおこなったりする予定です。



G

入学式から早いもので、1ヶ月が経ちました。新入生のみなさんも新しい環境に徐々に慣れ始めてきたところです。G部門では、4月22日に新入生歓迎会をおこないました。新入生の自己紹介や、先生の一発芸(?)や、3つのチームに分かれてバルーン転がし競争。また、阿久津教頭先生も飛び入りしての教員バンド、歌「風になる」では子どもたちが楽器を鳴らしたり一緒に歌ったりと大いに盛り上がりました。

